漢字プリント・ユーティリティ

1

KPRINT

漢字プリント・ユーティリティ

1.1 機能概要

文書ファイルを行ピッチ，文字ピッチ，横書き/縦書きなどの指定によって漢字プリンタへ出力するためのユーティリティです。

1.2 KPRINT コマンド

KPRINT

形式

KPRINT　ファイル指定 *[,...]*

コマンド修飾子	省略時設定
/LA84	/LA84
/LN03	/LA84
/FORM = フォーム指定	/FORM = 0
/IDENTIFY	/IDENTIFY
/NOTIFY	/NONOTIFY
/OUTPUT = 出力ファイル名	/NOOUTPUT
/QUEUE = プリント・キュー名	/QUEUE = JSY$PRINT

パラメータ修飾子	省略時設定
/ASCII	
/ASPECT_RATIO = (縦の比率 [, 横の比率])	/ASPECT_RATIO = (1,1)
/BOTTOM = 行数	/BOTTOM = 6
/CHARACTER_PITCH = ピッチ指定	
/CHECK [= (option [,...])]	/NOCHECK
/COMMAND	/NOCOMMAND
/COPIES = コピー部数	/COPIES = 1
/COVER_PAGE	/COVER_PAGE
/DELETE	/NODELETE
/EVEN_PAGE	
/FEED	/FEED
/FLAG_PAGE	/NOFLAG_PAGE
/FOOTER = (文字列 [, けた位置])	/NOFOOTER
/HEADER	/NOHEADER
/HIGH_SPEED	
/HORIZONTAL	/HORIZONTAL
/JIS	
/KEISEN = (線の太さ)	/NOKEISEN
/LANDSCAPE	
/LEFT = 文字数	/LEFT = 0
/LENGTH = 行数	
/LETTER	
/LINE_PITCH = ピッチ指定	

/ODD_PAGE	
/OVERLAY_FORM	/NOOVERLAY_FORM
/PAGE = (...)	/NOPAGE
/PRINT = ([START=印刷開始ページ ,] [END=印刷終了ページ])	
	全ページ印刷
/REGISTER_FORM	/NOREGISTER_FORM
/RESOLUTION = 1 インチ当たりのドット数	
/SIXEL	/NOSIXEL
/SIZE = (用紙の縦サイズ [, 用紙の横サイズ]) または用紙の種類の番号	
/SLANT	
/TITLE = (文字列 [, けた位置])	/NOTITLE
/TOP =行数	/TOP = 0
/VERTICAL	/HORIZONTAL

パラメータ

ファイル指定
入力ファイルを指定します。ワイルドカードも使えます。ファイル・タイプの省略時の値は.LIS です。

注意

漢字プリント・ユーティリティが一時的に作成した中間ファイルが残る場合があります。このファイルはユーザによって消去することができます。中間ファイルは次のような形をしています。

```
SYS$SCRATCH:KPRI%%%%%%%%%%%%.TMP
(%は1文字を表す)
```

1.3 プリンタの選択

漢字プリント・ユーティリティは，LA86，LA88，LA90，LA280，LA380 および LN03Plus をサポートします。これらのプリンタは印刷機能・制御コードの働きが異なりますから，下記のコマンド修飾子で出力する機種を指定します。指定のない場合は，LA86 への出力となります。

< コマンド修飾子 >

/LA84

「LA86」・「LA88」・「LA90」・「LA280」または「LA380」への出力であることを指定します。「LN03」を LA84 モードで使用している場合もこの指定です。

/LN03

「LN03Plus」(LN03S モードで使用) への出力であることを指定します。
以後の説明では「LN03Plus」を「LN03」と略記します。

1.4 ファイル制御

< コマンド修飾子 >

/OUTPUT

/OUTPUT =出力ファイル名

出力をプリント・キューではなくファイルに対して行うことを指定します。作成したファイルを印刷する場合には，KPRINT コマンドではなく PRINT コマンドを使用します。

/OUTPUT を指定した場合はプリント・シンビオントに関連する機能 (/QUEUE，/FORM，/IDENTIFY，/NOTIFY，/FLAG_PAGE，/COPIES，修飾子によるもの) を実行しません。

入力ファイルが SIXEL ファイルの場合は，作成した出力ファイルをプリンタに出力する際に，/NOFEED 修飾子を指定してください。

```
$ KPRINT/LA84/OUT=temp.out     GRAPH.SIX
$ PRINT/nofeed   temp.out
```

< パラメータ修飾子 >

/DELETE

/DELETE

/NODELETE (省略時設定)

指定した入力ファイルを，印刷後に削除します。省略時の設定では削除されません。

1.5 印刷の制御

PRINT コマンドの修飾子と同じように印刷の一般的な機能を制御します。

1.5.1 シンビオント制御

これらの修飾子は PRINT コマンドと共通でそのままプリント・シンビオントに渡されます。ただし，/OUTPUT を指定した場合はプリント・シンビオントを使用しませんのでこれらの機能を無視します。

< コマンド修飾子 >

/FORM

/FORM =フォーム指定
/FORM = 0 (省略時設定)

DEFINE/FORM で定義されたフォーム名またはフォーム番号を指定します。

/IDENTIFY

/IDENTIFY (省略時設定)
/NOIDENTIFY

プリント・ジョブに関するメッセージの表示を制御します。

/NOTIFY

/NOTIFY
/NONOTIFY (省略時設定)

印刷終了のメッセージを端末に出力します。省略時はメッセージを出力しません。

/QUEUE

/QUEUE =プリント・キュー名
/QUEUE = JSY$PRINT (省略時設定)

ファイルを出力するプリント・キューの名前を指定します。省略時の値は JSY$PRINT です。

＜パラメータ修飾子＞

/COPIES

/COPIES =コピー部数
/COPIES = 1 (省略時設定)

指定されたすべてのファイルに対し，指定された部数を印刷します。省略時の設定では 1 部です。

/FLAG_PAGE

/FLAG_PAGE [=キーワード]
/NOFLAG_PAGE (省略時設定)

フラグ・ページの印刷を制御します。省略時はフラグ・ページを出力しません。

/FLAG がパラメータではなく KPRINT コマンド自体に指定された場合には 2 種類のキーワード， ALL または ONE，を指定することができます。 ALL は印刷するすべてのファイルにフラグ・ページを付けることを指定します。 ONE は最初のファイルのみにフラグ・ページを付けることを指定します。

注意

フラグ・ページに出力されるファイル情報は，漢字プリント・ユーティリティが一時的に作成した中間ファイルの情報です。したがって，ファイル名，最終更新日時，ブロック・サイズ，最大レコード長などは， KPRINT コマンドで指定した入力ファイルの情報とは異なります。

1.5.2 KPRINT 特有の印刷制御

印刷の便宜をはかるために，次のようなパラメータ修飾子が用意されています。

＜パラメータ修飾子＞

/COVER_PAGE

/COVER_PAGE (省略時設定)
/NOCOVER_PAGE

最初に漢字プリント・ユーティリティが作成した表紙を 1 ページ出力します。省略時は表紙を出力します。

/EVEN_PAGE

偶数ページのみ出力します。/ODD_PAGE と同時に指定することはできません。

/FEED

/FEED (省略時設定)
/NOFEED

KPRINT で自動的に行うフォーム・フィードの挿入を制御します。省略時は/FEED で 1 ページの行数にしたがってフォーム・フィードを挿入します。

/ODD_PAGE

奇数ページのみ出力します。/EVEN_PAGE と同時に指定することはできません。

/PRINT

/PRINT = ([START=印刷開始ページ,] [END=印刷終了ページ])

印刷開始および終了ページを指定します。省略時はすべてのページを印刷します。

例

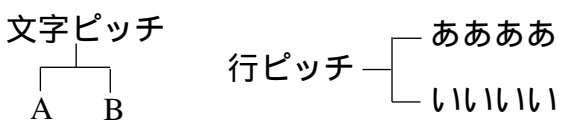
```
/PRINT = (END=10)              10 ページまで印刷
/PRINT = (START=10, END=20)    10 ~ 20 ページを印刷
/PRINT = (START=20)            20 ページ以降を印刷
```

1.6 書式の制御

印刷する文書の書式を決定するためのパラメータ修飾子です。

1.6.1 ピッチの指定

文字ピッチと行ピッチを制御します。文字ピッチは 1 インチあたりの半角文字数で指定します。行ピッチは 1 インチあたりの行数で指定します。指定する値はプリンタごとに異なります。



＜パラメータ修飾子＞

/CHARACTER_PITCH

/CHARACTER_PITCH =文字ピッチ指定

文字ピッチを 1 インチあたりの半角文字数で指定します。プリンタの機種により，指定できる文字ピッチは異なります。

「LA86」「LA88」「LA90」「LA280」または「LA380」への出力の場合

1:	13.3 文字/インチ	←省略時の値
2:	12.9 文字/インチ	
3:	12 文字/インチ	
4:	10 文字/インチ	

「LN03」への出力の場合

1:	15 文字/インチ	
2:	13.04 文字/インチ	←省略時の値
3:	12 文字/インチ	
4:	10 文字/インチ	
5:	8.33 文字/インチ	

/LINE_PITCH

/LINE_PITCH =行ピッチ指定

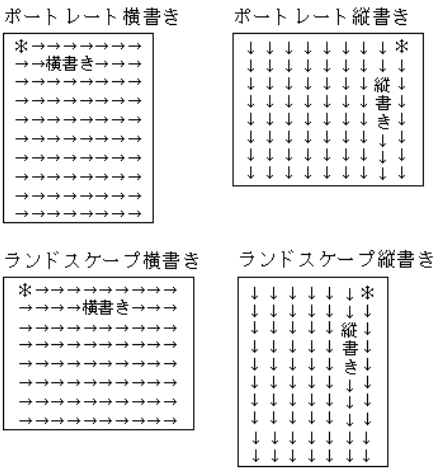
行ピッチを 1 インチあたりの行数で指定します。

1:	12 行/インチ	
2:	8 行/インチ	
3:	6 行/インチ	←省略時の値
4:	4 行/インチ	
5:	3 行/インチ	
6:	2 行/インチ	

1.6.2 印刷形式の指定

縦書き/横書き印刷およびポートレート/ランドスケープ印刷を選択できます。ただし，プリンタの機種により，指定できる形式には制限があります。

ポートレート横書き	すべてのプリンタで可能
ポートレート縦書き	すべてのプリンタで可能
ランドスケープ横書き	LN03 のみ可能
ランドスケープ縦書き	LN03 のみ可能



< パラメータ修飾子 >

/HORIZONTAL

横書きで出力することを指定します。省略時の設定は横書きです。

/LANDSCAPE 【 LN03 のみ有効】

ランドスケープ・モードで印刷します。この指定がない場合にはポートレート・モードで印刷します。

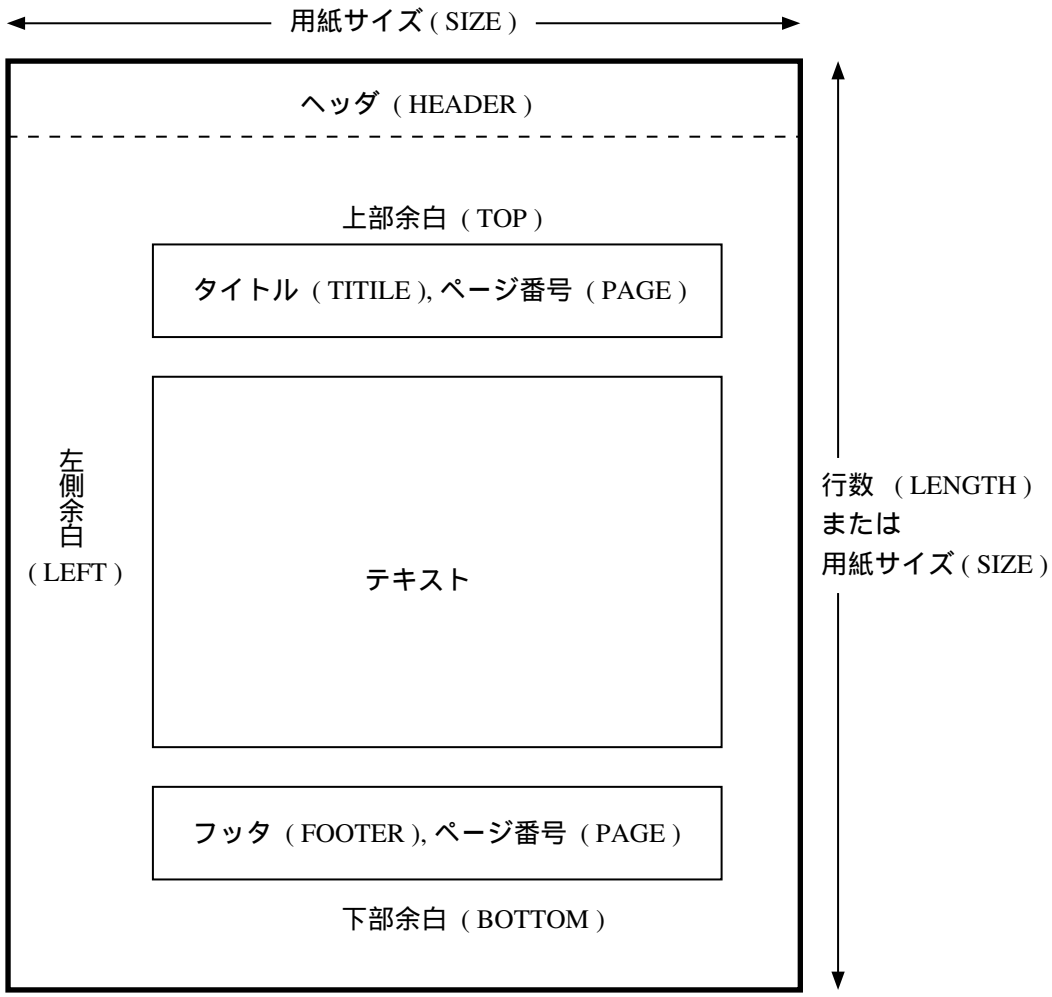
/VERTICAL

縦書きで出力することを指定します。省略時は/HORIZONTAL で横書きにします。

1.6.3 ページ・レイアウトの指定

上下の余白やタイトル，ページ付けを行い，ページ内のレイアウトを設定できます。

図 1–1　ページ・レイアウトの指定



< パラメータ修飾子 >

/BOTTOM

/BOTTOM =行数
/BOTTOM = 6 (省略時設定)

下部余白行数を指定します。省略時の値は 6 です。

/FOOTER

/FOOTER = (文字列[, けた位置])
/NOFOOTER (省略時設定)

各ページの最後の行に出力する文字列とそのけた位置を指定します。この指定が行われた場合は，出力用に最後の 2 行を確保します。ページの最後に出力する/PAGE と共に指定されている場合には，同一行に出力します。

/HEADER

/HEADER
/NOHEADER (省略時設定)

各ページの先頭にヘッダ (ファイル名，最終更新日時，ページ番号) を 1 行印刷します。省略時はヘッダを印刷しません。ヘッダの文字ピッチは/CHARACTER_PITCH で指定した値です。 KPRINT は，文字ピッチと用紙サイズ (/SIZE) をもとにして 1 行の文字数を計算し，ヘッダの内容が 1 行に収まらない場合は，ファイル名に含まれる装置名などを省略します。

注意

出力する文書中に文字ピッチ，文字の大きさなどを指定する制御コードが挿入されていた場合，次のページからヘッダが正しく印刷されないことがあります。

/LEFT

/LEFT =文字数
/LEFT = 0 (省略時設定)

左側余白を半角の文字数で指定します。省略時の値は 0 です。

/LENGTH

/LENGTH =行数

1 ページの行数を指定します。省略時には行ピッチ (/LINE_PITCH) と用紙サイズ (/SIZE) から 1 ページに印刷できる行数を計算し，改ページを制御します。

/PAGE

/PAGE [=ページ番号設定]
/NOPAGE (省略時設定)

ページ番号の出力を指定します。この指定を行うとページ番号出力用に 2 行確保されます。以下の項目が指定可能です。

START = s	s ページ目からページ番号を付けます。省略時の値は 1 です。
END = e	e ページまでページ番号を付けます。省略時の設定では最後までページ番号を付けます。
INITIAL = i	ページ番号を i から始めます。省略時の値は 1 です。
POSITION = p	p けた目にページ番号を書きます。省略時の値は 70 です。
TYPE = t	ページ番号の形式を指定します。 t が 1 の場合には "PAGE n"という形式で出力され， 2 の場合には "- n -"という形式で出力されます。BEFORE または AFTER を指定した場合には，この TYPE の指定を無視します。
TOP	ページの最初の行にページ番号を書きます。 省略時の設定です。 BOTTOM と同時に指定された場合は TOP とみなします。
BOTTOM	ページの最後の行にページ番号を書きます。 TOP と同時に指定された場合は TOP とみなします。
BEFORE =文字列	ページ番号の前につける文字列を指定します。 これを指定すると TYPE の指定を無視します。
AFTER =文字列	ページ番号の後につける文字列を指定します。 これを指定すると TYPE の指定を無視します。

/SIZE

/SIZE = (縦サイズ[, 横サイズ]) または用紙の種類

出力用紙のサイズを指定します。指定方法は次の 2 種類です。

「LA86」「LA88」「LA90」「LA280」または「LA380」への出力の場合には，用紙の縦サイズのみ，または縦と横のサイズをインチ数で指定します。
省略時の値は縦 11 インチ，横 13.5 インチです。
縦サイズのみを指定したとき，横サイズの省略時設定値は 13.5 インチです。

例

```
/SIZE= 11              (縦 =  11 インチ，横 = 13.5インチ)
/SIZE=(11,8)           (縦 =  11 インチ，横 =   8インチ)
```

「LN03」への出力の場合には，用紙の種類を 100 または 101 の値で指定します。

例

```
100:A4 サイズ     (縦 = 11.7インチ，横 = 8.3インチ)←省略時の値
101:レターサイズ  (縦 = 11.0インチ，横 = 8.5インチ)
```

KPRINT は，ここで指定された用紙サイズと行ピッチ (/LINE_PITCH) により，1 ページの行数を計算し，改ページを制御します。ただし，/LENGTH により 1 ページの行数が指定された場合，縦サイズの指定は無効です。

LN03 に対する出力で，/SIZE と/LANDSCAPE，/VERTICAL および /LINE_PITCH の関係を一覧表にしました。

表 1–1　用紙サイズと有効印字領域

			LN03	
用紙	サイズ		縦長	横長
100	11.70	縦	11.00	7.34
(A4)	8.30	横	7.20	10.50
101	11.00	縦	10.50	7.84
(LETTER)	8.50	横	8.00	9.60

表 1–2　用紙サイズと有効印字行数

		行ピッチごとの印字可能行					
用紙の方向	用紙のサイズ	1	2	3	4	5	6
縦長	A4	131	88	66	44	33	22
	LETTER	125	85	63	42	32	21
横長	A4	87	59	44	29	22	15
	LETTER	94	63	47	32	24	16

プリンタのディップ・スイッチの設定 (A4/LETTER) と/SIZE の指定 (100/101) が食い違っていると印字行数，左右の余白字数がおかしくなります。プリンタのディップ・スイッチの設定を確認の上，ご使用ください。

/TITLE

/TITLE = (文字列[, けた位置])

/NOTITLE (省略時設定)

各ページの最初の行に出力する文字列とそのけた位置を指定します。この指定が行われた場合は，出力用に最初の 2 行を確保します。ページの最初に出力する/PAGE と共に指定されている場合には，同一行に出力します。

/TOP

/TOP =行数
/TOP = 0

上部余白行数を指定します。省略時の値は 0 です。

1.6.4 フォーム・オーバーレイ

別ファイルに入っているテキストや図形などと重ねて印刷することができます。たとえば，独自のレター・ヘッドなどを付ける時などに使用できます。この機能は LN03 で有効です。

フォームは 1 種類登録でき，/REGISTER_FORM 修飾子によって登録されたフォームを/OVERLAY_FORM 修飾子を指定して利用します。

< パラメータ修飾子 >

/REGISTER_FORM 【 LN03 のみ有効】

/REGISTER_FORM
/NOREGISTER_FORM (省略時設定)

指定ファイルをフォーム・オーバーレイのためのフォームとして登録することを指定します。

SIXEL データを含むファイルをオーバーレイ・ページとして登録することはできません。

/OVERLAY_FORM 【 LN03 のみ有効】

/OVERLAY_FORM
/NOOVERLAY_FORM (省略時設定)

フォーム・オーバーレイを行うことを指定します。

1.7 グラフやイメージの印刷

SIXEL フォーマットで書かれたグラフやイメージを文章に挿入して印刷できます。現在， DECgraph，DECslide で SIXEL ファイルを作ることができます。それぞれの SIXEL ファイルの作り方については付録を参照してください。

SIXEL データを印刷する方法には SIXEL ファイルの単独印刷とテキスト文書の中への挿入の 2 種類があります。

1.7.1 グラフの単独印刷

SIXEL データのみからなるファイルは， KPRINT コマンドに/SIXEL 修飾子を付けて印刷します。

グラフの大きさは， 1 インチあたりのドット数を/RESOLUTION 修飾子で指定します。
グラフの縦横比は，/ASPECT_RATIO 修飾子で指定します。

KPRINT は，省略時の設定では DECgraph や DECslide で出力したイメージを 4 用紙の横幅に収めて印刷します。したがって DECgraph， DECslide の出力を違った大きさ，縦横比で印刷するときは /RESOLUTION および/ASPECT_RATIO の修飾子で値を指定します。

例

DECgraph の出力を縦: 横 = 2:1 の比率で LN03 に印刷する。

```
$ KPRINT/QUEUE=LN03/LN03/ASPECT_RATIO=(2,1) -
_$ /RESOLUTION=150 GRAPH.SXL
```

＜パラメータ修飾子＞

/SIXEL

/SIXEL
/NOSIXEL (省略時設定)

指定されたファイルに SIXEL モードを示すエスケープ・シーケンスを挿入して出力します。 SIXEL ファイルに対する/NOSIXEL の指定は無効です。

/ASPECT_RATIO

/ASPECT_RATIO = (縦の比率[, 横の比率])

SIXEL 出力時の縦横比を指定します。省略時は縦: 横を 1:1 の比率で出力します。

「LA86」「LA88」「LA90」「LA280」または「LA380」への出力の場合には，縦: 横 = 1:1 または 2:1 のみを指定できます。

例

```
/ASPECT_RATIO=2         縦:横 を 2:1 の比率で出力します。
/ASPECT_RATIO=1         縦:横 を 1:1 の比率で出力します。
```

「LN03」への出力の場合には，(m,n) または縦の比率のみを指定します (m,n は整数)。

例

```
/ASPECT_RATIO=(2,1)     縦:横 を 2:1 の比率で出力します。
/ASPECT_RATIO=(100,50) 縦:横 を 2:1 の比率で出力します。
/ASPECT_RATIO=(3,5)     縦:横 を 3:5 の比率で出力します。
/ASPECT_RATIO=2         縦:横 を 2:1 の比率で出力します。
```

/RESOLUTION

/RESOLUTION = 1 インチ当たりのドット数

1 インチ当たりのドット数 (= 1 ドットの大きさ) を指定します。
プリンタにより次の値が指定可能です。

「LA86」「LA88」「LA90」「LA280」または「LA380」への出力の場合

144 : 144 ドット/インチ←省略時の値
180 : 180 ドット/インチ

「LN03」への出力の場合

30:	30 ドット/インチ	
50:	50 ドット/インチ	
60:	60 ドット/インチ	
75:	75 ドット/インチ	
100:	100 ドット/インチ	
150:	150 ドット/インチ	←省略時の値
300:	300 ドット/インチ	

1.7.2 グラフの文書中への挿入

文書中に SIXEL グラフを挿入して同時に印刷することができます。
そのためには，文書中のグラフを挿入したい位置に下の例のように.SIXEL コマンドを入れます。さらに，グラフの左端から位置を.LM コマンドで指定します。

このようにして作成したテキスト・ファイルを/COMMAND 修飾子を付けて印刷します。
なお，この場合もグラフの大きさを/RESOLUTION 修飾子，グラフの縦横比を/ASPECT_RATIO 修飾子で制御することができます。

例

DECgraph などで作成した SIEXL イメージを文章の 40 文字 (半角) 目に左をあわせて印刷する。

SAMPLE.TXT

```
・・・・・・・・・
・・・文章・・・・
・・・・・・・・・
 .LM 40
 .SIXEL GRAPH.SXL
 .LM 0
・・・・・・・・・
・・・文章・・・・
・・・・・・・・・
```

GRAPH.SXL

```
DECgraphなどで
作成したSIXEL
データ・ファイル
```

このファイルを，次のコマンドで印刷します。

```
$ KPRINT/LN03/COMMAND SAMPLE.TXT
```

＜パラメータ修飾子＞

/COMMAND

/COMMAND
/NOCOMMAND (省略時設定)

テキスト・ファイル中で 1 けた目が“.”で始まる行をコマンド行とみなします。省略時は/NOCOMMAND でコマンド行の処理を行いません。

コマンド・モードで 1 けた目に“.”を出力したい場合には“.”を 2 個続けてください。

以下のコマンドが使用可能です。

. HORIZONTAL	横書きにします。
. VERTICAL	縦書きにします。ただし，LN03 では 1 ページ内の 1 部分のみを縦書きにする事はできませんから，このコマンドが現れた次のページから，ページ全体が縦書きされます。
. SLANT	右斜体印字を行います。 LN03 では無効です。
. UPRIGHT	斜体印字を解除します。
. LM [+/-] n	左マージンを変更します。符号付で指定された場合には現在の値に対して加減を行います。ただし，タイトル行のマージンは変更されず，/LEFT で指定された値を使用します。
. SIXEL file-spec	指定されたファイルを SIXEL 形式のイメージ・データとして処理し文章中に挿入します。

1.8 その他の修飾子

＜パラメータ修飾子＞

/ASCII

文字セットを ASCII に設定します。これにより 5C (16 進) のコードを円記号ではなくバックスラッシュとして印刷します。

/JIS と同時に指定することはできません。省略時は/JIS に設定されます。

/CHECK

/CHECK [= (オプション[,...])]
/NOCHECK (省略時設定)

JIS 第 2 水準および拡張領域の文字が使用されているかどうかをチェックし，使用されている場合はメッセージを出力します。省略時は/NOCHECK でチェックを行いません。

/CHECK でオプションを指定しなかった場合には LEVEL_II， EXPANDED のチェックを行います (表 1–3 を参照)。

表 1–3 オプション

ALL	すべてのチェックを行います。
LEVEL_II	JIS 第 2 水準の漢字が使用されているかどうかをチェックします。
EXPANDED	拡張領域の漢字が使用されているかどうかをチェックします。ただし，拡張漢字 94 区の罫線文字は対象外です。
KEISEN	拡張漢字 94 区の罫線文字が使用されているかどうかをチェックします。

/HIGH_SPEED 【 LA86， LA88， LA90， LA280 または LA380 で有効】

印字を倍速モードにする指定です。

/LETTER と同時に指定することはできません。/HIGH_SPEED，/LETTER のどちらの指定もない場合にはプリンタの設定を変更しません。

/JIS

文字セットを JIS-ROMAN に設定します。これにより 5C(16 進) のコードを円記号として印刷します。

/ASCII と同時に指定することはできません。省略時は/JIS に設定されます。

/KEISEN

/KEISEN = (線の太さ)
/NOKEISEN (省略時設定)

拡張漢字 94 区の罫線と 8 区の罫線を，指定の太さの 8 区の罫線に置き換えて出力します。省略時は/NOKEISEN で罫線コードはそのまま出力されます。

パラメータで罫線の太さを指定できます。太さは 1 ~ 2 の値を指定でき，パラメータ省略時の値は 1 です。ただし，実際に 2 種類の太さの罫線を出力できるのは DEC 漢字 1983 年版のプリンタだけです。

/LETTER 【 LA86， LA88， LA90， LA280 または LA380 で有効】

印字を高品質モード (レター・クオリティ) にします。

/HIGH_SPEED と同時に指定することはできません。/HIGH_SPEED，/LETTER のどちらの指定もない場合にはプリンタの設定を変更しません。

/SLANT 【 LA86 , LA88 , LA90 , LA280 または LA380 で有効】

/SLANT
/NOSLANT (省略時設定)

右斜体で印字します。

1.9 プリンタの機種による制限

プリンタの種類による印刷機能のサポートの制限を一覧表で示します。ここに示されている修飾子の機能は LA86 系と LN03 で共通に使用できます。

表 1–4 プリンタの機種による制限

修飾子	LA86 系[1]	LN03
/HIGH_SPEED	○	×
/LANDSCAPE	×	○
/LETTER	○	×
/OVERLAY_FORM	×	○
/REGISTER_FORM	×	○
/SLANT	○	×

[1]LA86 系= LA86 , LA88 , LA90 , LA280 , LA380

○... 有効，×... 無効

1.10 プリント・キューとフォームの設定

KPRINT ユーティリティを使用して印刷するためには，あらかじめプリント・キューと KPRINT 用のフォームを生成しておく必要があります。この節では，その設定例を説明します。

以下のコマンド例のすべてのパラメータをこのとおりに設定する必要はありませんが，いくつかのパラメータについては KPRINT を使用する場合，注意が必要です。

1.10.1 LA86 の設定例

LA86 を使用する場合の，ターミナル，フォームおよびプリント・キューを設定するコマンドの例です。 LA88 , LA90 , LA280 および LA380 についても同様に設定してください。

```
$ SET TERMINAL TTA0: /DEVICE=LA80 -
     /HOSTSYNCH/NOWRAP/WIDTH=511/PAGE=0/PERMANENT
$
$ SET DEVICE TTA0: /SPOOLED
$
$ DEFINE/FORM LA86_FORM 80 -                  !【注1】
     /MARGIN=(TOP=0,BOTTOM=0,LEFT=0) -        !【注2】
     /NOTRUNCATE/NOWRAP/STOCK=DEFAULT -       !【注3】
     /WIDTH=132/LENGTH=66
$
$ INITIALIZE/QUEUE/START/TERMINAL/FORM=LA80_FORM -
     /ON=TTA0:/DEFAULT=(FORM=LA86_FORM)  JSY$PRINT
$
```

【注 1】　フォーム名と番号は，未使用の名前と番号を割り当てます。

【注 2】　フォームのマージン (/MARGIN) は TOP， BOTTOM， LEFT のいずれも 0 を指定します。

【注 3】　必ず/NOTRUNCATE，/NOWRAP を指定します。

1.10.2　LN03 の設定例

LN03 を使用する場合の，ターミナル，フォームおよびプリント・キューを設定するコマンドの例です。

```
$ SET TERMINAL TTA0: /DEVICE=LN03 -
     /HOSTSYNCH/NOWRAP/WIDTH=511/PAGE=0/PERMANENT
$
$ SET DEVICE TTA0: /SPOOLED
$
$ DEFINE/FORM LN03_FORM 3 -                   !【注1】
     /MARGIN=(TOP=0,BOTTOM=0,LEFT=0) -        !【注2】
     /NOTRUNCATE/NOWRAP   -                   !【注3】
     /STOCK=DEFAULT/WIDTH=80/LENGTH=66
$
$ INITIALIZE/QUEUE/START/TERMINAL/FORM=LN03_FORM -
     /ON=TTA0:/DEFAULT=(FORM=LN03_FORM)  JSY$PRINT
$
```

【注 1】　フォーム名と番号は，未使用の名前と番号を割り当てます。

【注 2】　フォームのマージン (/MARGIN) は TOP， BOTTOM， LEFT のいずれも 0 を指定します。

【注 3】　必ず/NOTRUNCATE，/NOWRAP を指定します。